

北海道150年事業/松浦武四郎生誕200年記念 「松浦武四郎根室管内巡回パネル展」のお知らせ!

●日時 平成30年9月9日(日)～16日(日)

10:00～18:00(日10:00～16:00)

※9月10日(月)休館日

●場所 別海町図書館

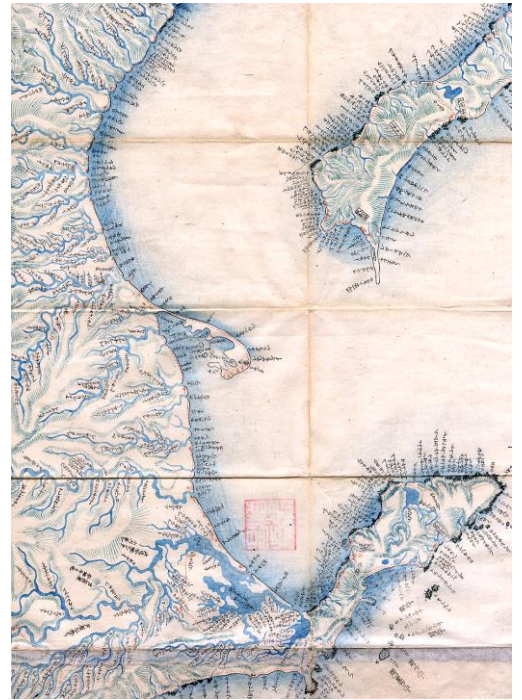
加賀家文書歴史講座(関連講座)

●日時 平成30年9月16日(日)10:00～12:00

●場所 別海町図書館・加賀家文書館

●内容 松浦武四郎の資料を見よう!

●受付 9月3日(月)から先着30名



「我が町のお宝展」を 北海道立釧路芸術館で開催します。

本展は、釧路、根室管内の市町村コレクションにスポットを当てることで、町の歴史や特色を紹介する展覧会として、北海道立釧路芸術館が主管となり実施するものです。

今回で第4弾となり、別海町のお宝展を下記の期日で開催することになりました。

郷土資料館からは、「加賀家文書等資料」「野付通行屋跡遺跡出土資料」「農業・漁業資料」「各種ジオラマ」などを出展します。お近くにお越しの際は、ぜひ、お寄りください。

○期 日 平成30年9月15日(土)～10月8日(月)

○時 間 午前9時30分～午後5時

○入場料 無料

○場 所 北海道立釧路芸術館フリーアートルーム

釧路市幸町4-1-5 電話0154-23-2381

"Treasures of Our Town" — Betsukai Town

別海町から
我が町の
お宝展

会場 釧路芸術館
フリーアートルーム

入場無料

2018年 9月15日(土)～10月8日(月)

開館時間 午前9時30分～午後5時

休館日 9月19日(火)、25日(火)
10月1日(月)

主催 北海道立釧路芸術館、
釧路新聞社
共催 別海町郷土資料館
後援 別海町、別海町観光協会

松浦武四郎(久保田) 五世家系図

Kushiro Art Museum
北海道立釧路芸術館
釧路市幸町4-1-5 TEL:0154-23-2381
http://www.kushiro-art.jp

芸術館

所蔵資料から振り返る！北海道 150 年、別海町のあゆみ その4 北海道の名付け親 松浦武四郎が記録した別海とは？

8月号に続き、松浦武四郎が記録した別海の様子を紹介します。

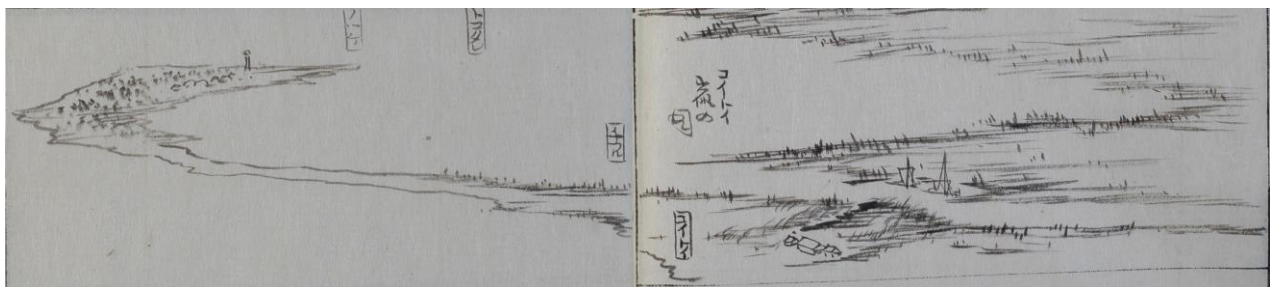
●ノツケ（野付半島：野付通行屋）

寛政11年（1799）蝦夷地を直轄した幕府は、陸路・海路の整備に伴い、野付半島先端部に野付通行屋を設置しました。国後島へ渡るための要所として重要な役割を果たすこととなります。野付通行屋には、支配人（商人の使用人）とアイヌの人足8人が詰め、通行する役人などのお世話をしていました。また、対岸の外海は、ニシンの好漁場で、番屋が50～60軒建ち並んでいました。

武四郎の蝦夷地初航：弘化2年（1845）の記録には「ノツケ止宿所（通行屋）に着く、番屋、弁天社、夷人小屋が2、3軒ある。寛政11年クナシリへ渡るための止宿所を建て、海上よりクナシリの泊まで5里ある。湾内には、島が3つ、4つあり、風景がおもしろい。カレイや鱒が多く、後20日もすれば鮭が多く捕れるようである。」『初航蝦夷日誌』（要約）

蝦夷地四航：安政3年（1856）の記録には、「この地形は海中へ突出して平地である。海岸には小貝が沢山あり、海扇・ホツキも多い、土地は悪いがだいこん・いんげん・いもが出来る。自然のごぼうも多く生えている。クナシリ（五里）への渡り場で、風待するために通行屋（133坪）板蔵3棟、焚出し小屋、制礼、弁天社が建てられている。その外（外海側）漁番屋・土人小屋もあり、出稼の者が多く、春漁（ニシン）が良い。また通行屋は虫が多くて難渋する。」『竹四郎廻浦日記』（要約）

蝦夷地六航：安政5年（1857）の記録には、野付通行屋で支配人・蝦夷通辞（通訳）をしていた加賀伝蔵が登場します。二人のやりとりなどは、次号でご紹介します。



『竹四郎廻浦日記 巻の二十五コイトイ出帆の図』 北海道大学附属図書館蔵

野付半島基部から先端、先端部には通行屋と漁番屋が描かれる。

別海町郷土資料館だより No.230

発行日 平成30年9月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町 30 番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記

8月後半、史跡旧奥行臼駅通所の発掘調査をしていました。昨年も実施しましたが、今年度は、工事により発掘調査が必要になった区域の調査でした。さて、9月は、松浦武四郎展、加賀家文書歴史講座、我が町のお宝展など事業が目白押しですが、多くの方に参加いただければと思います。(K.I)